

まだ見ぬ

歴史的な地域資源を
掘り起こし、磨き、伝承する

■ ルート名：豊の国歴史ロマン街道
森田 郁生さん



Scenic Byway Kyushu Meister



豊前市自然と文化財を守る会
森田 郁生さん

◆ 特徴的な活動

「活力ある地域づくり」

- ・ イベント企画・開催
- ・ まちあるき
- ・ 地域資源の発掘・活用

「人材育成」

- ・ 後世への継承

活動内容

森田氏は2018年度に九州風景街道マイスターに認定。京築地区の郷土史に造詣が深く、旧中津街道沿線の歴史探索ウォークのガイドや歴史講演会の講師の役割を数十年間担い地域住民等との交流を深めるなど、地域資源を効果的に活用した「地域おこし」に取り組み続けている。

「汗を流して歩き、歴史を知ることが何よりの楽しみ。地域資源を掘り起こして磨く活動に力を入れたい」と語る姿は今後の更なる活躍を期待される。また知識と技術の伝承にも注力し、市長の要請を受け、市民参加型の指導者養成のために各地で出前講座を行うなど、指導・教育も実施している。

Scenic Byway Kyushu Meister

豊の国歴史ロマン街道
森田 郁生さん

中津街道 史跡探索ウォークの開催

豊の国歴史ロマン街道は豊富な歴史的資源に恵まれ、森田氏はそれらの資源をもつ街道の魅力発信に努める「豊の国」風景街道推進協議会の理事を務める。毎月開催する中津街道史跡探索ウォークでは、実際に街道を参加者と歩き、奈良時代から現代に至る史跡を訪ね体感するとともに、歴史遺産の現状を共有。1万分の1の地図を配布し、小倉〜中津駅間の各駅を1年半かけて開催している。

標柱の設置

主要な歴史建造物などの地域資源の知名度向上のため、九州初の試みとしてルート標柱(計40基)を設置(常盤橋、中津城、宇佐神宮、網敷天満宮等)。平成23度から標柱の設置を開始し、設置された標柱は、中津街道史跡探索ウォークの目印としても活用している。令和3〜4年度は、平成23〜25年度に設置した標柱が、設置期限である10年を迎えるため、期間の延伸について管理者と協議の上、覚書きを作成。一部の標柱については、通行の障害とならないよう新たな場所へ移設している。

